



TEIKA VISION 2030

建学の精神

人類の将来を正しく見据え、生命の尊厳を深く学び、自然と人間の共生に貢献できる人材を育成し、持続可能な社会の発展に寄与する。

大学の理念

1. 自然に対する深い洞察力と学術に対する豊かな識見を養い、高度な専門的知識と実践的な問題解決能力を備えた人材を育成する。
2. 人類の幸福のために、学術を適切に運用する倫理的判断力を涵養し、知情意の均整のとれた健全な人格を養成する。
3. 深く専門の学術を研究し、その成果を地域社会に還元するとともに広く世界に発信し、人類の発展に寄与する。

将来ビジョン

私たちは、2030年に迎える帝京科学大学創立40周年に向けて、以下の3つのビジョンを掲げ、その実現のために2022年度から2026年度の5年間の中期目標・計画を策定し、実行します。

- 学生の成長を第一に考え、学生の成長をしっかりと支える教育研究体制、学生支援システムを構築し、「いのちをまなぶキャンパス」で「いのちをつなぎ、ささえ、はぐくむ人材」を育成します。
- 教育のための実践的な研究を推進し、研究の知見と教職員・学生の行動力により持続可能な社会の発展に貢献します。
- 社会の変化に迅速に対応し、法令を遵守し、法人・大学に課せられた社会的使命を果たし、健全なガバナンスに基づく開かれた法人・大学運営を目指します。

学校法人 帝京科学大学

令和4(2022)年3月 策定
令和6(2024)年1月 改定

中期目標・計画（2022年度～2026年度）

I 教育

目標① 学修者本位の教育の実現

教学マネジメントを確立し、学生の成長を第一に考え、学位を与える課程（学位プログラム）が、学生が必要な資質・能力を身につける観点から最適化されているかという「学修者目線」での教育の実現を目指します。

計画

- ① 教学マネジメントの確立（大学全体としての組織的なカリキュラムマネジメント）
- ② ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）を実現するための授業科目の編成・実施（教育課程の体系化とスリム化）
- ③ 教養教育（共通科目）の充実
- ④ 教学データの収集・分析・活用
- ⑤ データ、学生の意見、外部の意見等を踏まえた3つのポリシー（ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）、アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針））、教育課程等の点検・評価

目標② 学修成果の可視化

アセスメント・ポリシーを定め、一人ひとりの学生が自らの学修成果として身に付けた資質・能力を自己評価できるようにするため、学修成果の可視化に取り組みます。

計画

- ① 学生の学修成果の把握及びアセスメント
- ② 国家試験合格率、教員採用試験合格率、各種資格試験合格率アップのための支援体制充実

目標③ 教育方法の充実

学生の授業評価などに真摯に向き合い、分かりやすい、丁寧な指導のために、教育方法等の改善に取り組むとともに、オンライン授業等の活用による学びの多様化を図ります。

計画

- ① 教員の教育力・指導力向上
- ② 授業の改善と充実
- ③ オンライン授業等の活用による学びの多様化
- ④ 教員の資質向上

目標④ 大学院教育の充実

高度専門職人材養成のために、3つのポリシーを出発点とした学位プログラムとしての大学院教育の充実を目指します。

計画

- ① 3つのポリシーを出発点とした学位プログラムとしての大学院教育の確立（大学院教育の実質化）
- ② 大学院の広報の充実
- ③ 社会人学生の受入れ促進
- ④ 教員の資質向上

目標⑤ リカレント教育の推進

社会人等のニーズを踏まえ、本学の教育研究の特性を生かした講座を積極的に提供する。

計画

- ① 学外向け講座の開設

II 学修支援・学生支援

目標① リメディアル教育の充実

多様な学生が入学していることを踏まえ大学での学修の円滑化を図るため、組織的なリメディアル教育を行います。

計画

- ①リメディアル教育の強化
- ②入学前教育の充実

目標② 学修支援の充実

円滑な学修活動等の基盤となる助言教員制度の充実により、きめ細かな支援を行い、一人ひとりの学生の成長を支援します。

計画

- ①助言教員の質保証
- ②履修指導の充実
- ③TA・SAの積極的活用、質の向上
- ④学生の成長を第一に考え、学修者本位の教育を実現し、学生をしっかり支える「面倒見の良い大学」となるためのシステム作り

目標③ 学生支援の充実

学生の学修、大学生活に関する相談・支援体制を充実するとともに、課外活動等を支援します。

計画

- ①総合学生支援センターにおける機能強化
- ②障がいをもつ学生の組織的な支援
- ③学生への経済的支援の充実
- ④学生の課外活動支援の充実
- ⑤学修環境の整備

目標④ キャリア教育・就職支援の充実

入学時から就職に至るまで、各学科とキャリア支援センターが連携を図り、全学的にキャリア教育・就職支援に取り組みます。

計画

- ①キャリア教育科目の充実とインターンシップの充実
- ②就職支援イベントの充実

Ⅲ 広報・入試・学生募集

目標① 大学のブランド力向上

「学修者本位の教育の実現」「きめ細かい教育」「学生に寄り添った学生支援」を通じて「いのちをまなぶキャンパス」「いのちをつなぎ、ささえ、はぐくむ大学」という帝京科学大学のブランド力（認知度）を高めます。

計画

- ①戦略的かつ斬新的な広報の実施
- ②外部に向けた大学活動の発信
- ③VI（ビジュアルアイデンティティ）の確立

目標② 入試改革

アドミッションポリシーに沿って公正かつ妥当な方法で入学者選抜を行います。

計画

- ①入学者選抜方法ごとのGPA、入学者選抜方法の検証
- ②大学進学をめぐる現状や学力の3要素による評価の入試改革、これからの時代に必要な「21世紀型能力」などの検証
- ③教育活動との連携

目標③ 学生募集の強化

志願状況、社会情勢等に応じた募集方法を強化します。

計画

- ①ホームページの充実
- ②高校訪問、進路ガイダンス（校内型・会場型）の充実
- ③オープンキャンパスの充実
- ④学生募集の在り方の検証

IV 教育研究組織・研究

目標① 教育研究組織

社会のニーズ、志願者の動向に応じた人材養成を行うために教育研究組織を整備します。

計画

- ①人材の養成など社会のニーズ、志願者の動向に応じた教育研究組織の整備
- ②高度専門職人材養成のための教育研究組織の整備

目標② 研究

教育の基盤となる研究の推進を図るとともに、本学の理念や目的に関連する特色ある研究を推進します。

計画

- ①科学研究費補助金等競争的資金の獲得推進
- ②教育推進特別研究費による教育研究、特色あるプロジェクト研究・地域研究等の推進
- ③研究活動に伴う研究倫理、コンプライアンスの徹底
- ④若手・中堅教員を中心にした研究支援
- ⑤研究関連の情報公開の充実

V 地域連携・グローバル化

目標① 地域社会との共創

持続可能な地域社会の発展のため、自治体・関係機関等と連携し、本学の資源・特性を活かした特色ある活動を行います。

計画

- ①地域社会の発展および課題解決に向けて、本学の特色を活かした活動による地域貢献
- ②産学、官学等の連携による地域の活性化に貢献
- ③SDGs「住み続けられるまちづくり」を目標に、防災・減災における地域住民との連携や取組みの実施

目標② グローバル化

海外の大学との連携を推進し、学生・教職員の相互交流を進めるとともに、グローバルな視点を持って活動できる人材を育成します。

計画

- ①北京第二外国語学院中瑞管理学院との大学間協定に基づく相互交流の推進
- ②新規の海外大学との大学間交流協定の締結、交流協定を基にした学生間の短期留学（派遣・受入れ）や教職員間の交流・招聘の促進
- ③留学生の受入れ促進
- ④その他国際交流センター活動の充実
- ⑤本学の国際化に向けた全学的な協力体制の整備

VI 大学運営

目標① ガバナンスの確立

公益法人である学校法人としての健全なガバナンスを確立します。

計画

- ①私立学校法、寄附行為等に基づく健全なガバナンスの確立
- ②法令遵守の徹底
- ③ガバナンス体制の整備
- ④監査機能の強化
- ⑤中期目標・計画の着実な実施

目標② 財務基盤の強化

入学定員の安定的な確保に努めるとともに、経常費補助金収入など財源の多様化を図り、財務基盤を強化します。

計画

- ①学生納付金の安定的確保
- ②経常費補助金増に努めるとともに、科学研究費補助金等の外部資金の増
- ③有価証券等の安定的な運用とともに、運用状況のチェック体制の充実
- ④財務基盤確保のための収支改善の見直し

目標③ 法令遵守、ハラスメント防止、研究費等不正防止体制の充実・強化

公教育を担う大学の教職員として高い倫理観を持ち、法令、服務規律を遵守し、適正な経理、研究費等の不正防止、ハラスメントの防止に努めます。

計画

- ①法令や服務規律遵守に関する意識を高める
- ②ハラスメント防止の強化

目標④ 危機管理の徹底

新型コロナウイルス感染、地震・水害等の危機管理に関する意識を向上させ、就学、就労上の適切な環境を確保するとともに、安全管理体制、危機管理体制を充実・強化し、安全・安心なキャンパスを構築します。

計画

- ①危機管理体制の強化
- ②感染症対策の充実
- ③緊急事態への対応策の強化
- ④安全教育の充実

目標⑤ 施設・設備整備、情報ネットワーク環境の整備等教育研究環境の充実

計画的な施設・設備の整備、情報ネットワーク教育研究環境の充実を図ります。

計画

- ①教育研究活動に支障のないよう、老朽施設・設備を中心に計画的に整備
- ②学生、教職員の教育研究活動の充実に資するため、ネットワーク環境等の計画的整備
- ③図書館の整備及び充実
- ④教育研究環境の整備及び充実

目標⑥ 教職協働の大学運営

学内のコミュニケーションを密にするとともに、大学運営の両翼である教員及び事務職員の能力向上、意欲喚起を図り、教職員一体となった教職協働の大学運営を目指します。

計画

- ① 教学マネジメント機能の強化
- ② ワークライフバランス（働き方改革）の推進
- ③ 教員と事務職員の連携強化

目標⑦ 事務局の機能強化

企画立案機能の強化、学生支援の充実、グローバル化への対応、業務のDX推進など事務局の機能強化を図ります。

計画

- ① 教務の企画立案機能強化
- ② 学生支援業務の機能強化
- ③ IR業務の機能強化
- ④ 各課・室の機能を強化するとともに、業務のDX化を推進し定例的・定型的業務のスリム化

目標⑧ 事務職員の資質向上

教職協働実現、組織目標達成、意欲向上のために事務職員の資質向上を図るとともに、人事評価制度を改善します。

計画

- ① 人材育成方針策定し、計画的に研修を実施するとともに、自己啓発を促進
- ② 組織目標達成、モチベーション向上、適材適所配置のために人事評価制度の改善

目標⑨ 自己点検・評価の充実

恒常的・継続的な自己点検・評価に取り組み、教育研究の質の向上、大学運営等の改善・充実を目指します。

計画

- ① 中期目標・計画の実施状況を中心としたPDCAサイクルの確立
- ② 自己点検・評価活動を行うための自律的な質保証体制の構築

Ⅶ 設置校

目標① 帝京第五高等学校

基礎基本の学力の徹底を図り、一人ひとりの個性を伸ばす教育、社会に貢献できる人材の育成及び文武両道で育まれる健全な心身を養うことを目標とし、学校運営の適正化を図り、生徒・保護者・地域等から信頼され、魅力ある学校になります。

計画

- ①生徒一人ひとりの個性の伸長を図るカリキュラムの運営
- ②社会に役立つ知性と教養の習得を念頭においた高校生活の進路計画
- ③社会に貢献する人材を育てる3つの学科の充実
- ④21世紀の医療を見据えた、看護科5年間一貫というゆとりある学校生活の中の、未来の医療を担う看護師の育成
- ⑤教職員一人ひとりが生徒・保護者・地域等から信頼され、魅力ある学校になるにはどうあるべきかを考え、校長のリーダーシップの下、管理運営の適正化を図り、生徒・保護者・地域等から信頼される学校運営の実現
- ⑥令和4年度から令和6年度までの3年間で重点強化期間として位置づけ、教育活動・課外活動、学校運営、広報活動三位一体の充実強化
- ⑦令和6年度までに入学定員充足率70%（入学生140人）を実現
- ⑧強化部（野球部・サッカー部・バレー部・剣道部）等の情報発信（SNSやYoutube）や中学校との根強い関係の構築や内容の見直し・戦略的な活動の実施

目標② 帝京福祉専門学校

「介護」や「福祉」の意味や役割を根本から学んでいただき、様々な介護状況に対応できる力を身に付け、人間的に大きく成長し、福祉のエキスパートを育てます。志願者確保の観点から広報活動の強化を図ります。

計画

- ①国家資格合格率の更なる改善
- ②広報活動（SNSやYoutube）や高校との根強い関係の構築や内容の見直し・戦略的な活動の実施
- ③志願者数の増加に向けた学生募集の在り方の検討
- ④教職員の資質向上

目標③ 愛媛帝京幼稚園

健全な心身と望ましい社会性の育成を目指し、子どもたちの豊かな感性を養成します。

計画

- ①教育プログラムの充実
- ②学童保育や緊急時の預り体制など、多様で充実した子育て支援
- ③広報活動の実施
- ④教職員の資質向上

目標④ 帝京科学大学千住桜木保育園

「体を動かす子」「やりぬく子」「考える子」「思いやりのある子」を育みます。園児確保に向けた保育活動の広報活動充実化を目指します。

計画

- ①動物や植物とのふれあいを通して「いのち」を学び大切にする子どもの育成
- ②大学の各学部と連携した活動の充実
- ③広報活動の実施
- ④保育士の資質向上